

■道の駅整備

どこにあると良いか	まちなかに。
「まちなか」に作る理由	郊外を指す位置にはトナカイ牧場などがあるが、あそこにあっても、人が流れないし、町民が使いにくい。

■必要な機能は何か

幌延の「道の駅」にとって必要な考え方 (コンセプト、目指すもの)	地域の拠点であること。
	地域住民が利用できる道の駅であること。
	町に住んでいる高齢者が行けること。 (高齢者が行けることによって、毎日人がいる環境となる。)
	毎日、人が集う場であることが重要。 ＝年間通じて人がいる場
	観光客の呼び込みについては、地域住民の利用の次くらい。 近隣の人も呼び込める仕組みづくり。
	お金を落としてもらえそうな仕組みづくり。
あると良いもの、必要なもの	地域バスの拠点としてあるべき(バス停の設置) ＝高齢者の足としてのシャトルバス等の運行
	子どもが屋外で遊べるスペース ＝子どもが来れば、親が来て、何かを購入する行為に繋がるため。
	高齢者も一緒に遊べるスペース(憩いの場)
	体を動かせるようなスペース(ウォーキングやジムのなモノ?)
	お風呂 ＝必ず人が集まるため(特に高齢者が集う理由になる)
	まちの見どころ(ビューポイントなど)を観れるようなリアルタイム 画像モニター等の設置 ＝まちなかに設置しても、見てほしい美しい景観などがいないため。 ＝道の駅を拠点に、他の地へ観光してもらうことに期待できる。

■目玉商品になるえる「食」

まちの特産品	ソフトクリーム、ジェラートは必須！
	<合鴨、トナカイ、牛乳>の他にも新しいもので、ここでしか食べられないものを。
	・ミズナラソフトクリーム
	・ブルーポピーソフトクリーム
	・合鴨焼き鳥
その他	・ミズナラ樽を置いて、日本酒を自分で汲んで呑める
	近隣市町村の特産品
	島の特産品(海のものなどを、ここでも購入できるメリット) 美味しいこと！が絶対

■運営の在り方

どんな方に働いてもらえたらよいか	全世界に公募する (=意図としては、町内の人で運営するのは厳しく無理がでてしまうため、幅広く周知した公募を意味する。)
	外から企業がきて運営してもらえると、無理もなくてよい。
	10年、20年後にどうなっているのか、を考えると、簡単に意見は出しにくい。 ＝現状の今の町内の人で回すなどは、無理なので、アイデアを出すのも気がひけてしまうが、外からやる気のある人がきて担ってくれるならば、潤いもあって、良いと思う。

■視察したい道の駅

(上記の意見を踏まえたうえで、視察が参考になると考えられる道の駅を選出したため、遠方などは気にしていません)	★あしよろ銀河ホール21【道東】 :まちなかにある例として参考になるため。 :機能的にどうなっているかも確認できそうのため。
	★くろまつない【道南】 :「食」の視点で優れているため。